

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月6日

【評価実施概要】

事業所番号	0171400682		
法人名	医療法人社団 向仁会		
事業所名	グループホーム よろこびの家		
所在地	北海道函館市栄町16番16号		
	(電話) 0138-23-2777		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年8月4日	評価確定日	平成20年8月11日

【情報提供票より】(平成20年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年9月1日		
ユニット数	5ユニット	利用定員数計	45人
職員数	43人	常勤	37人, 非常勤 6人, 常勤換算 37.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5階建ての 1~5階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,400円	その他の経費(月額)	22,000~27,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	180円
	または1日当たり 1,330円			

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	44名	男性	14名	女性	30名
要介護1	8名	要介護2	7名		
要介護3	14名	要介護4	12名		
要介護5	2名	要支援2	1名		
年齢	平均 84.1歳	最低	63.2歳	最高	97.5歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	住慶クリニック・函館協会病院・さこ歯科・藤岡眼科
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

小学校の卒業式や運動会などへの行事参加、中学生の体験学習や専門学校生の実習生・ボランティアの受入れなど積極的に行いホームの機能を地域に還元している鉄筋コンクリート5階建て5ユニットのグループホームです。函館山やイカ釣り漁船の漁火が見え自然環境に優れていると共に防火管理責任者が配置され、スプリンクラーも設置されてハード面での安全対策も充実しています。また、それぞれの職員も仲が良く明るくケアサービスの質の向上に研鑽されている姿が伺えました。さらに年1回利用者・家族アンケートを独自に実施して、データ集計で改善点を見出し家族の意見や要望に応える取り組みも実施されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回外部評価では、職員の異動等の情報を伝える仕組みについて検討されていましたが、離職や異動の際には、事前に家族との話し合いや運営推進会議での報告など利用者のダメージを最小限に抑える取り組みが行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 事業所及び管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解して、具体的活動に取り組んでいます。また、ホーム独自の利用者・家族アンケートを実施して、家族の意見や要望を聞きながらそれらを運営に反映させて取り組んでいる姿が印象的でした。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在4回実施されています。議題は 避難訓練実施要領の説明 消防署員からの講評及び消防法の改正について 日々の暮らしについて 口腔ケアについて(誤嚥性肺炎について) 認知症の症状について など
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) ホーム独自の利用者・家族アンケートを実施して、家族の意見や要望を把握し、スタッフ会議や管理者会議で具体的な改善策を見出してそれらを運営に反映させています。また、健康状態の変化時の連絡や「よろこび便り 栄」を定期的に発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など情報提供されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 小学校との相互訪問や中・高校生の体験学習、高校生のボランティアの受入れ、町内会に加入して地域の行事参加など日常生活を通じて地元の人々との交流が積極的に行われています。また、近隣の福祉施設と協力して「夏祭り」に参加したり、運営推進会議で認知症について広報や啓発に取り組むなど地域との連携が実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全ての職員にアンケートを実施して、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして「自由を守ります、プライドを守ります、ゆとりを持ちます、思いを大切にします、分かち合い共に生きます」の事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、理念を唱和してその実践に取り組んでいる。また、理念実現に向けて職員一人ひとりが具体的な個々の目標を持っている。		特筆すべき点として、5ユニット毎に特色があり、全ての職員からアンケートをとり理念達成のための具体的な目標設定が行われています。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校との相互訪問や中・高校生の体験学習、高校生のボランティアの受入れ、町内会に加入して地域の行事参加など日常生活を通じて地元の人々との交流が積極的に行われている。		特筆すべき点として、近隣の福祉施設と協力して「夏祭り」参加での交流や運営推進会議で認知症について広報や啓発に取り組むなど地域との連携が実践されている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	事業所及び管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解して、具体的活動に取り組んでいます。また、ホーム独自の利用者・家族アンケートを実施して、家族の意見や要望を聞きながらそれらを運営に反映させて取り組んでいる姿が印象的でした。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については、本年度 評価日現在4回開催され2ヶ月ごとに定期的実施されている。運営推進委員は、利用者、家族、函館市担当者、包括支援センター、管理者、職員で構成されサービス向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、函館市担当者から運営推進会議参加で助言を得るほかに消防署職員による火災避難訓練などで指導・助言を得ている。</p>		<p>今後は、さらに函館市及び市担当者との連携が深められサービスの向上に活かされるように期待します。</p>
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「よろこび便り 栄」を定期的に発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など情報提供されている。また、状態変化時には都度詳細に報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>独自の利用者・家族アンケートの実施や運営推進会議での家族との意見交換や要望など表せる機会を設けてそれらを運営に反映させている。また、それらの苦情を職員間で共有できる仕組みが整っている。</p>		<p>特筆すべき点として、ホーム独自の利用者・家族アンケートを実施して、家族の意見や要望を把握し、スタッフ会議や管理者会議で具体的な改善策を見出してそれらを運営に反映させている。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職や異動の際には、事前に家族との話し合いや運営推進会議での報告など利用者のダメージを最小限に抑える取り組みが行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じてユニットごとに研修会を開催したり、年間計画に基づいてグループホーム連絡協議会などの外部研修会参加が行われている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人グループ内は、システムが構築され常に情報の共有が行われている。また、利用者と職員が一緒になって他施設の夏祭りなどへの行事が行われサービスの向上に活かされている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう本人、家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントに基づいて過去の生活歴を把握し、職員も利用者と一緒に食事の準備や家事を行っている。また、散歩や買物、地域の銭湯に行ったり、本人の思いになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	フェイスシートで一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握して散歩や買い物、ドライブ、外食など本人を尊重した取り組みがされている。		今後は、認知症ケアで有効とされているセンター方式の採用を検討されることを期待します。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理の元に介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報やカンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		特筆すべき点として、介護記録は、電子化されシステム化されて職員で共有されている。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買物、銭湯での入浴、通院の支援など柔軟に行っている。また、法人運営のクリニック、老健施設、包括支援センターとの連携が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週、医療連携の看護師が訪問して健康管理や状態変化に対応している。また、気軽に相談できる医師・歯科医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針が明確にされ、契約時にターミナルケアの対応について、家族と相談しながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重して支援されている。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースや思いを大切にして、散歩や買い物、家事や食事の準備、銭湯での入浴、ドライブ、野外でのバーベキュー、寿司などの外食、お祭り見物など本人の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と利用者が一緒になって家事や食事の準備をしている。また、誕生日には一人ひとりに応じた誕生会が行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低週2回を目安に入浴ができるように、利用者の希望やタイミングに応じて対応している。また、近くの銭湯での入浴も支援されている。浴槽の改造も行われ身体機能の変化にも対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、家事や食事の準備、行事参加、花見やお祭り見物、プロ野球観戦やドライブなど気分転換のための支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物、花見やドライブ、野外でのバーベキューや外食、田植えなどの楽しみごとなど戸外に出かけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会で職員に徹底され玄関は開放され鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、エレベーターも自由に利用でき、職員の見守りが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	RC構造の5階建てでスプリンクラーも設置され、資格を持った防火管理責任者が配置されている。また、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	具体的な水分摂取量や食事摂取量などの介護記録は、電子化されシステム化されて職員で共有されている。また、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	利用者にとって気になる臭いや音の大きさは感じられない。ホーム内は、全体的にゆったり広く、廊下や共用空間には椅子やテーブルが多く配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。眺望が素晴らしくイカ釣り漁船の漁火や花火など見物できて居心地良く過ごせる工夫がされている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、テレビやソファ、箆笥などの使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、希望に応じて居室の模様替えや家具の配置替えなど利用者一人ひとりの思いに応じた支援が行われている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。